

森で
学ぼう

親子「子ども樹木博士」 チャレンジ！2025

福島森林管理署では平成26年度から、福島民友新聞社との共催で「子ども樹木博士」のイベントを開催しています。

この「子ども樹木博士」は、木の名前を知り、木を識別できるようになることを通じて森林に親しんでもらう活動で、今年は8月3日に、福島市土湯温泉近くにある南澤国有林において、8家族21名の参加者を迎えて開催しました。

はじめに、参加者は少人数の班に分かれて林内に入り、インストラクターである福島森林管理署の職員から樹木の樹皮や葉の特徴、匂いや用途などの説明を受けて、その後15種の樹木の識別試験に挑戦しました。



参加者の皆さんは森の中で「樹皮がペラペラ剥けるダケカンバ」や「枝から香水のような匂いを放つクロモジ」、「メープルシロップが取れるイタヤカエデ」など多様な樹木の匂いを嗅いだり、樹皮を触ったり、五感で楽しみながら木の名前を覚えていました。

試験では、試験木を行ったり来たり、自分の記憶を呼び起こすのに苦戦しながらも問題に挑戦していました。

最後に福島森林管理署長から「子ども樹木博士」の認定書が参加者全員に授与され、嬉しそうに受け取っていました。

我々スタッフにとっても、子ども樹木博士を通じて、自然や森林、樹木に触れ合い学ぶことができる楽しさを再発見できた一日でした。



当日の様子が福島民友新聞にも掲載されました。

「樹木博士」目指すぞ！ 福島の国有林で親子イベント:地域ニュース:福島民友新聞社